



1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> その他（ 交流及び共同学習 ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「持てる力を最大限発揮し、主体的かつ個性豊かに社会へ自立していく児童生徒の育成」を学校教育目標に、すべての児童生徒が質の高い教育の恩恵を享受できるようにESDを推進している。

ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通して、共生社会実現のために、同じ社会に生きる人間として互いを正しく理解するとともに、共に助け合い支え合って生きていく力を育成している。

具体的には、持続可能な社会の創り手に必要な「コミュニケーション力」「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」を育む学習を中心に行った。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 市内学校間交流(小学校・中学校・高等専門学校)

小・中学部は、それぞれ市内の天の原小学校、宮原中学校と対面による交流を行った。また、高等部は、有明工業高等専門学校と音楽交流を行った。

本校の児童生徒にとって、校外の同世代の人と関わる大切な機会となり、対人関係をつくる経験を重ねるとともに、社会性を養い、好ましい人間関係を営む場となった。

また、交流校の児童生徒にとっても障がいのある子どもたちへの理解と認識を深めるとともに、共生社会の実現に向けて、自らの生き方に気づく貴重な機会となっている。



○ 特別支援学校との交流

国内（特別支援）学校間交流では、平成24年度から交流を続けているユネスコスクール加盟校の見附市立見附特別支援学校と、作品交流を行った。

それぞれの学校（学部）を紹介したり、児童生徒が作成した絵画作品やおたより、カレンダーなどを送ったりして交流を行った。



○ 地域交流・居住地校交流

地域交流は、児童生徒にとって様々な人と関わる機会となり、対人関係を築くよい経験となった。

また、小・中・特別支援学校合同作品展へ出品したり、ゆめタウンや大牟田市イノベーション創出拠点「aurea」、ともだちや絵本美術館の『絵本とアートのマルシェ』などにおいて作業学習作品を販売したりしたことで、地域の方々が本校や障がいについて理解を深めることにつながった。

居住地校交流では、児童生徒が住む校区の小中学校と学級活動や体育科、生活科等で交流を深めた。

自分の居住する地域社会の中で積極的に活動し、地域の同世代の子どもたちと交流を行うことで、地域での生活の基盤を形成することができた。また、居住地校の児童生徒にとっては、共に助け合い支え合って生きていくことを学んだり、思いやりの心が育ったりした。



3 今後の活動計画

ESDの実践を通して、共生社会実現のために、同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し共に助け合い、支え合って生きていく力の育成を目標とする。

そのために、交流及び共同学習を中心として、市内ユネスコスクール間交流、国内学校間交流（ユネスコスクール加盟特別支援学校）、居住地校交流、高等専門学校との学校間交流とともに、地域の方々とも積極的に交流を行っていく。

- ・小学部 七夕交流 なかよし交流 遊ぼう交流 居住地校交流 等
- ・中学部 七夕交流 クリスマス交流 わくわく交流 居住地校交流 等
- ・高等部 有明高専音楽交流 大牟田市イノベーション創出拠点「aurea」作業学習作品販売 ゆめタウン作業学習作品販売 等
- ・各学部共通 見附特別支援学校との作品交流 学習発表会 勝立地区公民館文化祭作品展 市小中特別支援学校合同作品展 パラサンまつり展示 等